※令和４年度以降入学生用

学校番号	204

令和８年度　(専)音楽科

教科	(専)音楽	科目	(専)ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	標準版コールユーブンゲン（全音楽譜出版社）						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「視唱」「視奏」「聴音」の３つの内容を年間通して学習し、音楽を形づくっている要素を正しくとらえる力を身につけます。
・音楽を感覚的にとらえるだけにとどまらず、音楽を形づくっている要素を、音を出し、音を聴くことで体感します。
・この授業で学習する内容は、「音楽理論」や「（学）声楽演習」の授業と相互に関連しています。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技試験で評価します。なお、a:「知識･技能」b:「思考･判断･表現」c:「主体的に学習に取り組む態度」の３観点で評価します。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な読譜の能力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
　楽曲の表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現する能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
　音楽性豊かな表現のために必要な学びに主体的に取り組もうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱､器楽､創作の基礎的な技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素の働きやその効果を理解しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて、表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心をもち、音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習に主体的に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	視唱・視奏	【視唱】 「コールユーブンゲン」 No.37～No.61 【視奏】 リズム視奏	a:楽譜から得た音高・音程、リズムのイメージを基に、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。視唱奏に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身につけている。 b:旋律を形づくっている要素を基に、音高・リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、視唱奏の表現を工夫している。 c:旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに興味・関心を持っている。 他者の演奏に対し、音楽の要素に分けて正しく聴き、言葉で指摘できる。	観察 ワークシート 演奏聴取	観察 ワークシート 演奏聴取	観察 ワークシート 演奏聴取 他者の観察記録
	表現の実際	【歌唱】 「コンコーネ 50 番」 No.25～No.37 「イタリア歌曲」	a:楽譜から得た音高・音程、リズムのイメージを基に、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。歌唱に必要な発声の基礎と、基本的な読譜能力を身につけている。 b:旋律を形づくっている要素を基に、音高・リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、視唱の表現を工夫している。 c:旋律やリズムの変化と、それらが生み出す歌詞、曲想との関わりに興味・関心を持っている。 他者の演奏に対し、音楽の要素に分けて正しく聴き、言葉で指摘できる。	観察 ワークシート 演奏聴取	観察 ワークシート 演奏聴取	観察 ワークシート 演奏聴取 他者の観察記録
	聴音	【聴音】 旋律聴音(4小節) ※必要に応じて到達度別課題を設定する 和音の聴き取り・コード判別	a:旋律を形づくっている要素（拍子・リズム、音高・音程）を理解し、楽譜として表現するための技能を身につけている。 b:旋律を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、正確な記譜表現を工夫している。 c:旋律を形づくっている要素の働きに興味・関心をもっている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	視唱・視奏	【視唱】 「コールユーブンゲン」 No.62～No.77 付録　合唱基本練習 【視奏】 リズム視奏（複リズム）	a:楽譜から得た音高・音程、リズムのイメージを基に、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。視唱奏に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付けている。 b:旋律を形づくっている要素を基に、音高・リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、視唱奏の表現を工夫している。 c:旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに興味・関心を持っている。 他者の演奏に対し、音楽の要素に分けて正しく聴き、言葉で指摘できる。	観察 ワークシート 演奏聴取	観察 ワークシート 演奏聴取	観察 ワークシート 演奏聴取 他者の観察記録
	表現の実際	【歌唱】 「コンコーネ 50 番」 No.38～No.50 「ドイツ歌曲」	a:楽譜から得た音高・音程、リズムのイメージを基に、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。歌唱に必要な発声の基礎と、基本的な読譜能力を身に付けている。 b:旋律を形づくっている要素を基に、音高・リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、視唱の表現を工夫している。 c:旋律やリズムの変化と、それらが生み出す歌詞、曲想との関わりに興味・関心を持っている。 他者の演奏に対し、音楽の要素に分けて正しく聴き、言葉で指摘できる。	観察 ワークシート 演奏聴取	観察 ワークシート 演奏聴取	観察 ワークシート 演奏聴取 他者の観察記録
		【聴音】 旋律聴音（4小節） 和声聴音 ※必要に応じて到達度別課題を設定する	a:旋律を形づくっている要素（拍子・リズム、音高・音程）を理解し、楽譜として表現するための技能を身に付けている。 b:旋律を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、正確な記譜表現を工夫している。 c:旋律を形づくっている要素の働きに興味・関心をもっている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート
3学期	視唱・視奏	総合的な音楽の理解	a:楽譜から得た音高・音程、リズムのイメージを基に、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。視唱奏に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付けている。 b:旋律を形づくっている要素を基に、音高・リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、視唱奏の表現を工夫している。 c:旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに興味・関心を持っている。 他者の演奏に対し、音楽の要素に分けて正しく聴き、言葉で指摘できる。	観察 ワークシート 演奏聴取	観察 ワークシート 演奏聴取	観察 ワークシート 演奏聴取 他者の観察記録

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度